BMCインターフェイスの設定（SG100、SG110、SG1000、SG1100、SG6000、およびSG6100）

StorageGRID Appliances

NetApp
May 10, 2024

目次

BMCインターフェイスの設定（SG100、SG110、SG1000、SG1100、SG6000、 およびSG6100）

BMCインターフェイス：概要（SG100、SG110、SG1000、SG1100、SG6000、 およびSG6100）

SG6100、SG6000、またはサービスアプライアンスのベースボード管理コントローラ（BMC）のユーザインターフェイスには、ハードウェアに関するステータス情報が表示され、アプライアンスのSNMP設定やその他のオプションを設定できます。

このセクションの次の手順に従って、アプライアンスの設置時にBMCを設定します。

- "BMCインターフェイスの管理者パスワードまたはrootパスワードの変更"
- "BMC 管理ポートの IP アドレスを設定します"
- "BMC インターフェイスにアクセスします"
- "SNMPを設定します"
- "BMCアラートのEメール通知を設定する"

> アプライアンスがグリッドにすでに設置されていて、StorageGRIDソフトウェアを実行している場合は、次の手順を実行します。
>
> - "アプライアンスをメンテナンスモードにします" をクリックして、StorageGRIDアプライアンスインストーラにアクセスします。
> - を参照してください "BMC 管理ポートの IP アドレスを設定します" StorageGRIDアプライアンスインストーラを使用してBMCインターフェイスにアクセスする方法については、を参照してください。

BMCインターフェイスの管理者パスワードまたはrootパスワードの変更

セキュリティを確保するため、BMCの管理者ユーザまたはrootユーザのパスワードを変更する必要があります。

作業を開始する前に

管理クライアントがを使用している必要があります "サポートされている Web ブラウザ"。

このタスクについて

アプライアンスの初回インストール時には、BMCではadminユーザまたはrootユーザのデフォルトのパスワードが使用されます。システムを保護するために、adminユーザまたはrootユーザのパスワードを変更する必要があります。

デフォルトのユーザは、StorageGRIDアプライアンスのインストール時期によって異なります。デフォルトのユーザーは、新規インストールの場合は* admin 、古いインストールの場合は root *です。

手順

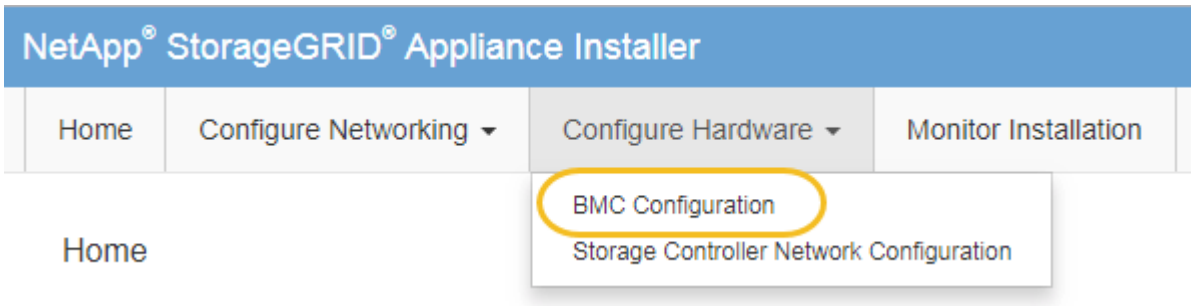
1. クライアントから、StorageGRIDアプライアンスインストーラのURLを入力します。

   `https://Appliance_IP:8443`

   の場合 `*Appliance_IP*`には、任意のStorageGRID ネットワーク上のアプライアンスのIPアドレスを使用します。

   StorageGRID アプライアンスインストーラのホームページが表示されます。

2. [ハードウェアの設定 *>*BMC 構成 *] を選択します。



   [Baseboard Management Controller Configuration] ページが表示されます。

3. 管理者アカウントまたはrootアカウントの新しいパスワードを2つのフィールドに入力します。
4. [保存（ Save ）] を選択します。

BMC 管理ポートの IP アドレスを設定します

BMCインターフェイスにアクセスする前に、SGF6112、SG6000-CNコントローラ、またはサービスアプライアンスのBMC管理ポートのIPアドレスを設定します。

ConfigBuilderを使用してJSONファイルを生成する場合は、IPアドレスを自動的に設定できます。を参照してください "アプライアンスのインストールと設定を自動化"。

作業を開始する前に

- 管理クライアントがを使用している必要があります "サポートされている Web ブラウザ"。
- StorageGRID ネットワークに接続できる管理クライアントを使用している必要があります。
- BMC 管理ポートが、使用する管理ネットワークに接続されている必要があります。

SG100

SG110

SG1000 からのアクセス

SG1100

SG6000を使用します

SG6100

このタスクについて

BMC 管理ポートでは、サポート目的で下位レベルのハードウェアアクセスが許可されます。

> このポートは、信頼されているセキュアな内部管理ネットワークにのみ接続してください。該当するネットワークがない場合は、テクニカルサポートから BMC 接続の要請があった場合を除き、 BMC ポートを接続しないか、またはブロックしたままにしてください。

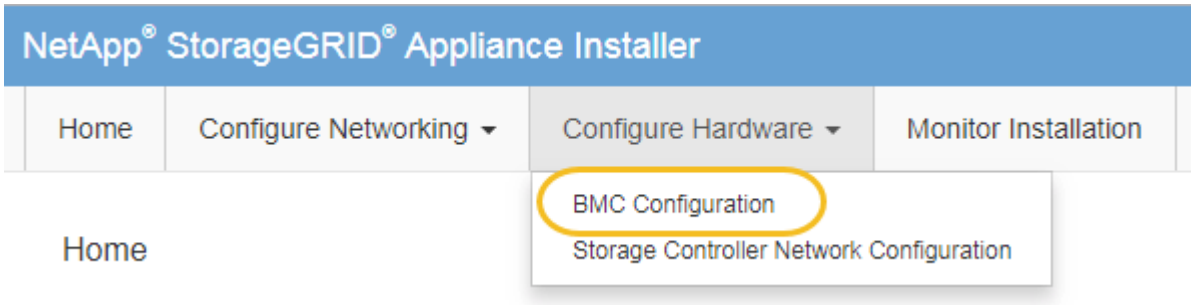
手順

1. クライアントから、StorageGRID アプライアンスインストーラのURLを入力します：+
   `https://Appliance_IP:8443`

   の場合 `Appliance_IP`には、任意のStorageGRID ネットワーク上のアプライアンスのIPアドレスを使用します。

   StorageGRID アプライアンスインストーラのホームページが表示されます。

2. [ハードウェアの設定 *>*BMC 構成 *] を選択します。

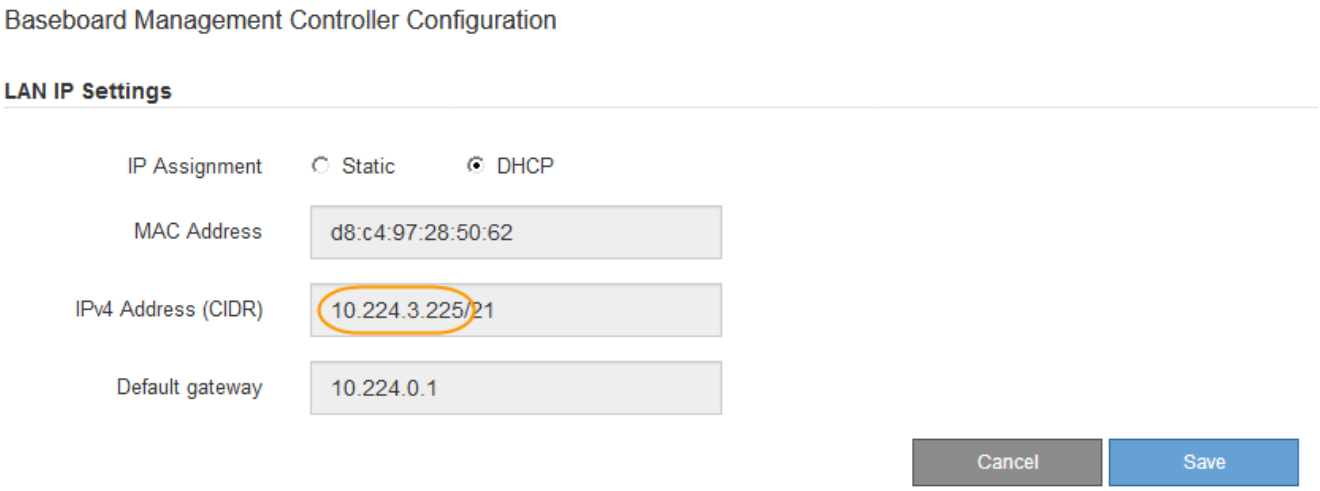


[Baseboard Management Controller Configuration] ページが表示されます。

3. 自動的に表示される IPv4 アドレスを書き留めます。

このポートに IP アドレスを割り当てるためのデフォルトの方法は、 DHCP です。

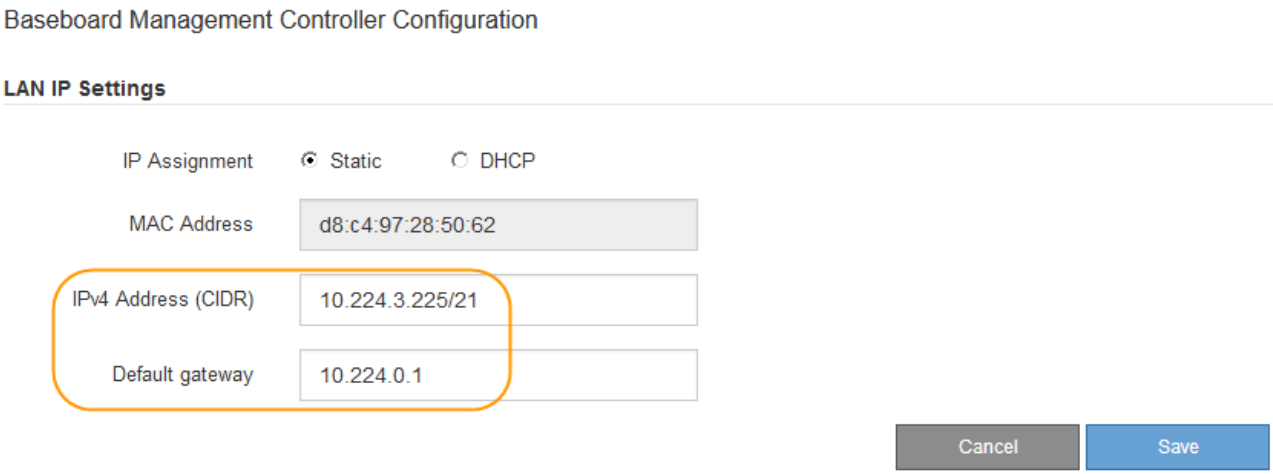
DHCP 値が表示されるまでに数分かかる場合があります。



4. 必要に応じて、 BMC 管理ポートに静的 IP アドレスを設定します。

BMC 管理ポートに静的 IP を割り当てるか、 DHCP サーバでアドレスの永久リースを割り当てる必要があります。

a. 「 * Static * 」を選択します。
b. CIDR 表記を使用して IPv4 アドレスを入力します。
c. デフォルトゲートウェイを入力します。



d. [保存（ Save ）] をクリックします。

変更が適用されるまで数分かかる場合があります。

BMC インターフェイスにアクセスします

次のアプライアンスモデルでは、BMC管理ポートのDHCPまたは静的IPアドレスを使用してBMCインターフェイスにアクセスできます。

- SG100
- SG110
- SG1000 からのアクセス
- SG1100
- SG6000を使用します
- SG6100

作業を開始する前に

- 管理クライアントがを使用している必要があります "サポートされている Web ブラウザ"。
- アプライアンスのBMC管理ポートを、使用する管理ネットワークに接続しておきます。

SG100

SG110

SG1000 からのアクセス

SG1100

SG6000を使用します

SG6100

手順

1. BMCインターフェイスのURLとして「+」を入力します `https://BMC_Port_IP`

   の場合 `*BMC_Port_IP*`BMC管理ポートのDHCPまたは静的IPアドレスを使用します。

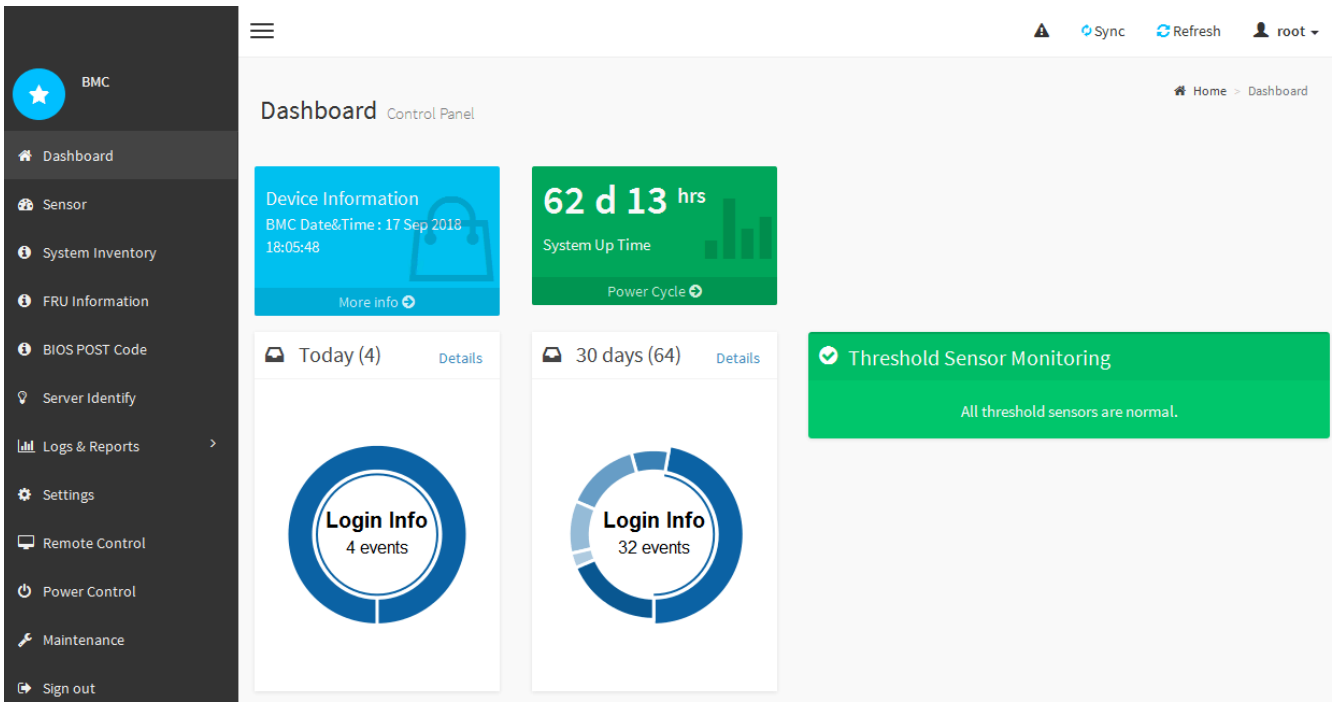
   BMC のサインインページが表示されます。

をまだ構成していない場合 `BMC_Port_IP`の手順に従ってください "BMCインターフェイスの設定"。 ハードウェアの問題が原因で手順 を使用できず、 `BMC` の `IP` アドレスを設定していない場合でも、 `BMC` にアクセスできる可能性があります。デフォルトでは、`BMC` は `DHCP` を使用して `IP` アドレスを取得します。BMCネットワークでDHCPが有効になっている場合は、ネットワーク管理者からBMC MACに割り当てられたIPアドレスを指定できます。このIPアドレスは、アプライアンス前面のラベルに印刷されています。BMCネットワークでDHCPが有効になっていない場合、数分後にBMCが応答しなくなり、BMCにはデフォルトの静的IPが割り当てられます `192.168.0.120`。ラップトップをBMCポートに直接接続し、ネットワーク設定を変更してラップトップになどのIPを割り当てなければならない場合があります `192.168.0.200/24`をクリックしてを参照します `192.168.0.120`。

2. 管理者またはrootのユーザ名とパスワードを、 "デフォルトのパスワードが変更されました"：

デフォルトのユーザは、StorageGRIDアプライアンスのインストール時期によって異なります。デフォルトのユーザーは、新規インストールの場合は* admin 、古いインストールの場合は root *です。

3. 「 * サインイン * 」を選択します。



4. 必要に応じて、 **Settings**>*User Management* を選択し、「 disabled 」ユーザをクリックして、追加のユーザを作成します。

ユーザが初めてサインインすると、セキュリティを強化するためにパスワードの変更を求められる場合があります。

BMCのSNMP設定を行います

ハードウェアのSNMPの設定に精通している場合は、BMCインターフェイスを使用し

てSG6100、SG6000、およびサービスアプライアンスのSNMP設定を行うことができます。セキュリティで保護されたコミュニティストリングを指定し、 SNMP トラップを有効にし、 SNMP の送信先を最大 5 つ指定できます。

作業を開始する前に

- BMC ダッシュボードへのアクセス方法を確認しておく必要があります。
- SNMPv1-v2c 機器の SNMP 設定経験が必要です。

> この手順 で作成された BMC 設定は、アプライアンスに障害が発生して交換が必要な場合に、保持されないことがあります。 適用したすべての設定を記録し、必要に応じてハードウェアの交換後に簡単に再適用できるようにします。

手順

1. BMC ダッシュボードで、 * Settings * > * SNMP Settings * を選択します。
2. SNMP 設定ページで、 * SNMP V1/V2* を有効にするを選択し、読み取り専用コミュニティストリングと読み取り / 書き込みコミュニティストリングを指定します。

   読み取り専用コミュニティストリングは、ユーザ ID やパスワードのようなものです。侵入者がネットワーク設定に関する情報を取得できないようにするには、この値を変更する必要があります。読み取り / 書き込みコミュニティストリングは、不正な変更からデバイスを保護します。

3. 必要に応じて、 * トラップを有効にする * を選択し、必要な情報を入力します。

   > IP アドレスを使用して、各 SNMP トラップの送信先 IP を入力します。DNS名はサポートされていません。

   アプライアンスが異常な状態になったときにSNMPコンソールに通知がすぐに送信されるようにするには、トラップを有効にします。デバイスによっては、トラップは、さまざまなコンポーネントのハードウェア障害、リンクのアップ/ダウン状態、温度しきい値を超えている、またはトラフィックが多いことを示している場合があります。

4. 必要に応じて、 [テストトラップの送信] をクリックして設定をテストします。
5. 設定が正しい場合は、 * 保存 * をクリックします。

BMCアラートのEメール通知を設定する

アラート発生時にEメール通知が送信されるようにするには、BMCインターフェイスを使用してSMTP設定、ユーザ、LANデスティネーション、アラートポリシー、およびイベントフィルタを設定します。

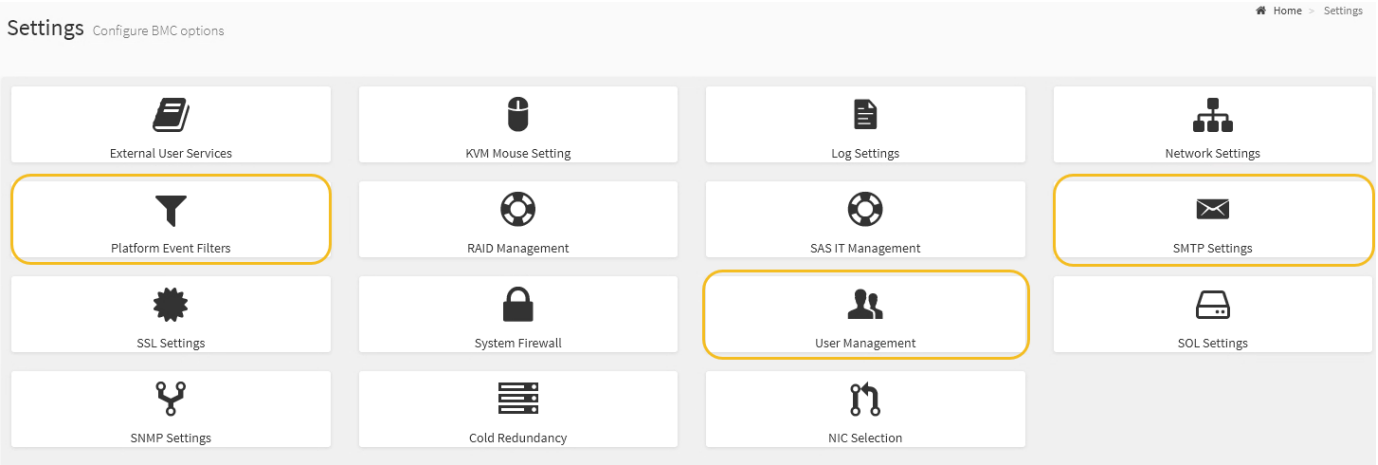
> SG6000-CNコントローラまたはサービスアプライアンスに障害が発生して交換が必要になった場合、この手順 で行ったBMC設定が保持されないことがあります。適用したすべての設定を記録し、必要に応じてハードウェアの交換後に簡単に再適用できるようにします。

作業を開始する前に

BMC ダッシュボードへのアクセス方法を確認しておく必要があります。

このタスクについて

BMC インターフェイスでは、 [設定] ページの *SMTP 設定 * 、 * ユーザー管理 * 、および * プラットフォーム・イベント・フィルタ * オプションを使用して、電子メール通知を設定します。



手順

1. "BMCのSNMP設定を行います"。
   a. [* 設定 * > * SMTP 設定 *] を選択します。
   b. [送信者電子メール ID] に、有効な電子メールアドレスを入力します。

      この E メールアドレスは、 BMC が E メールを送信したときの送信元アドレスとして提供されます。

2. アラートを受信するようにユーザを設定します。
   a. BMC ダッシュボードで、 * Settings * > * User Management * を選択します。
   b. アラート通知を受信するユーザを少なくとも 1 人追加してください。

      ユーザに設定する E メールアドレスは、 BMC がアラート通知の送信先アドレスです。たとえば、「 notification-user 」などの一般的なユーザーを追加し、テクニカルサポートチームの Email宛先リストの電子メールアドレスを使用できます。

3. LAN 宛先にアラートを設定します。
   a. [* 設定 * > * プラットフォーム・イベント・フィルタ * > * LAN 宛先 *] を選択します。
   b. LAN 宛先を少なくとも 1 つ設定します。
      - [宛先の種類] で [**Email**] を選択します。
      - BMC Username には、前に追加したユーザ名を選択します。
      - 複数のユーザを追加し、すべてのユーザが通知メールを受信できるようにする場合は、ユーザごとにLAN宛先を追加します。
   c. テストアラートを送信します。
4. アラートポリシーを設定して、 BMC がアラートを送信するタイミングと場所を定義できるようにします。
   a. [* 設定 * > * プラットフォーム・イベント・フィルタ * > * アラート・ポリシー *] を選択します。
   b. LAN 宛先ごとに少なくとも 1 つのアラートポリシーを設定します。

- [ポリシーグループ番号（ Policy Group Number ）] で、 * 1 * を選択します。
- ［ ポリシーアクション ］ で、 ［ * 常にこの宛先にアラートを送信する * ］ を選択します。
- LAN チャンネルの場合、 * 1 * を選択します。
- [Destination Selector] で、ポリシーの LAN 宛先を選択します。

5. イベントフィルタを設定して、さまざまなイベントタイプのアラートを適切なユーザに送信します。
   a. [* 設定 * > * プラットフォーム・イベント・フィルタ * > * イベント・フィルタ *] を選択します。
   b. Alert Policy Group Number （アラートポリシーグループ番号）に * 1 * を入力します。
   c. アラートポリシーグループに通知するイベントごとにフィルタを作成します。
      - 電源アクション、特定のセンサーイベント、またはすべてのイベントのイベントフィルタを作成できます。
      - 監視するイベントが不明な場合は、センサーの種類として「 * すべてのセンサー * 」を選択し、イベントオプションとして「すべてのイベント * 」を選択します。不要な通知を受け取った場合は、選択内容をあとで変更できます。

著作権に関する情報

商標に関する情報